

宮古市「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」結果 【磯鷄地域版】

1. 調査概要及び回収状況

(1) 調査概要

調査方法：郵送による配布、回収
 調査期間：【発送】平成23年7月8日 【回答の返送締切】平成23年7月26日
 対象者：被災地域及びその周辺の各世帯
 配布数：【市全体】6,644世帯 【藤原・磯鷄地域】1,059世帯

(2) 回収状況(平成23年8月16日時点)

回収数：【市全体】3,200世帯 【藤原・磯鷄地域】462世帯(うち磯鷄地域256世帯)
 回収率：【市全体】48.2% 【藤原・磯鷄地域】43.6%

2. 集計結果(磯鷄地域分)

(1) 回答者の属性

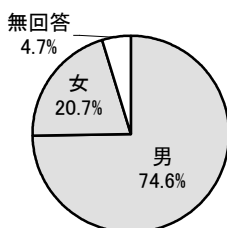
問1：世帯の代表の方についてお聞きします。
 それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

- 世帯の代表の方にお答えいただいたことにより、「男性」、「70歳代以上」の回答者が多くなっています。また、家族構成は一世帯世帯、二世帯世帯がそれぞれ30%以上を占めています。

ア：性別

	全体		磯鷄	
	回答数	割合	回答数	割合
男	2,172	67.9%	191	74.6%
女	814	25.4%	53	20.7%
無回答	214	6.7%	12	4.7%
計	3,200	100.0%	256	100.0%

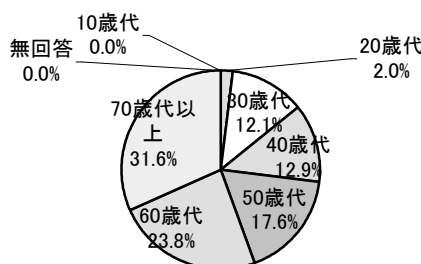
ア：性別(N=256)



イ：年齢

	全体		磯鷄	
	回答数	割合	回答数	割合
10歳代	1	0.0%	0	0.0%
20歳代	51	1.6%	5	2.0%
30歳代	218	6.8%	31	12.1%
40歳代	393	12.3%	33	12.9%
50歳代	572	17.9%	45	17.6%
60歳代	875	27.3%	61	23.8%
70歳代以上	1,050	32.8%	81	31.6%
無回答	40	1.3%	0	0.0%
計	3,200	100.0%	256	100.0%

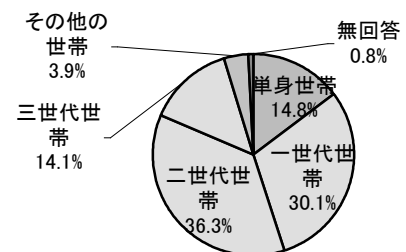
イ：年齢(N=256)



ウ：現在の家族構成

	全体		磯鷄	
	回答数	割合	回答数	割合
単身世帯	592	18.5%	38	14.8%
一世帯世帯	786	24.6%	77	30.1%
二世帯世帯	1,142	35.7%	93	36.3%
三世帯世帯	425	13.3%	36	14.1%
その他の世帯	194	6.1%	10	3.9%
無回答	61	1.9%	2	0.8%
計	3,200	100.0%	256	100.0%

ウ：現在の家族構成(N=256)



- 現在のお住まいが震災前とは別の方においては、「民間賃貸住宅」と「仮設住宅」が多くなっています。

エ:現在の住まい

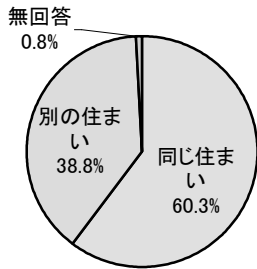
	全体		磯鷄	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ住まい	993	36.8%	143	60.3%
別の住まい	1,672	61.9%	92	38.8%
無回答	35	1.3%	2	0.8%
計	2,700	100.0%	237	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(磯鷄237人)を対象

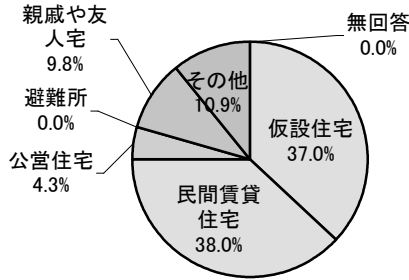
	全体		磯鷄	
	回答数	割合	回答数	割合
仮設住宅	793	47.4%	34	37.0%
民間賃貸住宅	368	22.0%	35	38.0%
公営住宅	78	4.7%	4	4.3%
避難所	33	2.0%	0	0.0%
親戚や友人宅	177	10.6%	9	9.8%
その他	214	12.8%	10	10.9%
無回答	9	0.5%	0	0.0%
計	1,672	100.0%	92	100.0%

※[エ]で「別の住まい」と回答した1,672人(磯鷄92人)を対象

現在の住まい



別の住まい(内訳)



- 震災前に仕事に就いていた方の中では、「販売・サービス業」、「製造業・建設業」が多く、職場については約35%が「藤原・磯鷄」となっています。
- 震災前に仕事に就いていた方のうち、震災後に何らかの変化(休業、廃業、退職、失業)があったと回答した方は、約30%となっています。

オ:震災前の仕事

	全体		磯鷄	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業	28	0.9%	1	0.4%
漁業	371	11.6%	14	5.5%
製造業・建設業	447	14.0%	43	16.8%
販売・サービス業	618	19.3%	57	22.3%
公務員・団体職員	280	8.8%	33	12.9%
主婦(夫)	137	4.3%	5	2.0%
学生	1	0.0%	0	0.0%
無職	985	30.8%	78	30.5%
その他	263	8.2%	22	8.6%
無回答	70	2.2%	3	1.2%
計	3,200	100.0%	256	100.0%

カ:震災前の職場の場所

	全体		磯鷄	
	回答数	割合	回答数	割合
宮古	418	20.1%	31	17.9%
愛宕・光岸地	51	2.5%	2	1.2%
鍛ヶ崎	144	6.9%	5	2.9%
藤原・磯鷄	177	8.5%	60	34.7%
高浜	34	1.6%	0	0.0%
金浜	26	1.3%	0	0.0%
崎山	37	1.8%	5	2.9%
津軽石	78	3.8%	3	1.7%
赤前	66	3.2%	2	1.2%
重茂	59	2.8%	1	0.6%
田老	233	11.2%	1	0.6%
その他宮古市	141	6.8%	21	12.1%
県内	85	4.1%	10	5.8%
県外	43	2.1%	3	1.7%
無回答	486	23.4%	29	16.8%
計	2,078	100.0%	173	100.0%

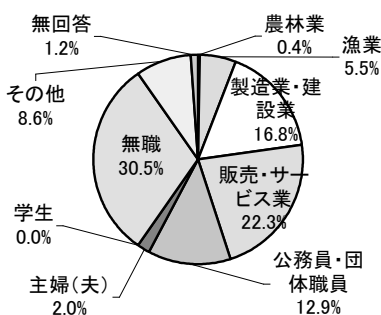
※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(磯鷄173人)を対象

キ:震災後の仕事の変化

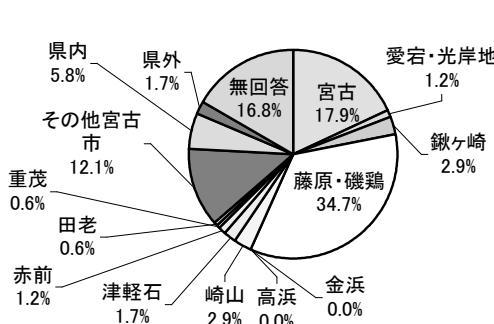
	全体		磯鷄	
	回答数	割合	回答数	割合
休業	396	19.1%	23	13.3%
廃業	138	6.6%	7	4.0%
退職	99	4.8%	11	6.4%
失業	182	8.8%	12	6.9%
変化なし	895	43.1%	100	57.8%
その他	182	8.8%	14	8.1%
無回答	186	9.0%	6	3.5%
計	2,078	100.0%	173	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(磯鷄173人)を対象

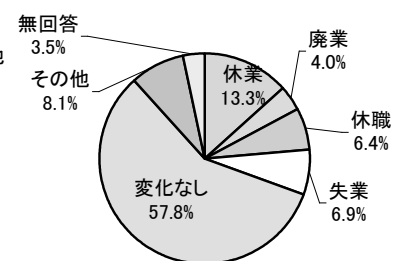
震災前の仕事



震災前の職場の場所



震災後の仕事の変化



(2) 震災前の住まい、今後の住まいについて

問2：震災前のお住まいについてお聞きします。

それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

問3：今後の住まいをどのようにお考えですか。

- 震災前の住まいは約70%が「持ち家」となっています。
- 住まいの被害については、「流出」、「全壊」、「大規模半壊」の被害を受けている方が、回答者の約50%を占めています。
- 今後の住みたい場所については、「同じ場所」に住みたいと考えている方が半数以上を占めています。(4ページ)
- 今後の住まいとしては、約40%が「既に補修」、「補修予定」となっています。(4ページ)
- 住みたい場所の理由は「住み慣れた地域を離れたくない」、「生活するのに便利」が多くなっています。(4ページ)
- 住みたい場所と考えている住まいをクロス集計すると、「同じ場所」で「既に補修」が最も多く、約30%となっています。(4ページ)

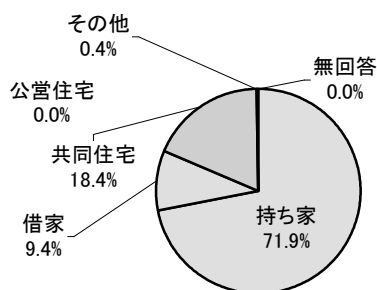
ウ：震災前の住まいの種類

	全体		磯鷲	
	回答数	割合	回答数	割合
持ち家	2,639	82.5%	184	71.9%
借家	225	7.0%	24	9.4%
共同住宅	218	6.8%	47	18.4%
公営住宅	26	0.8%	0	0.0%
その他	41	1.3%	1	0.4%
無回答	51	1.6%	0	0.0%
計	3,200	100.0%	256	100.0%

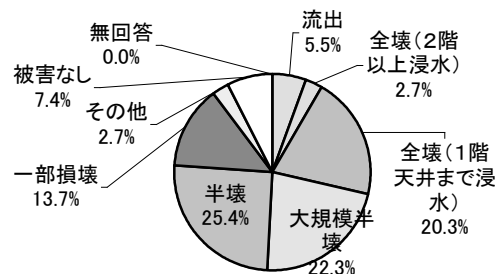
エ：住まいの被害

	全体		磯鷲	
	回答数	割合	回答数	割合
流出	853	26.7%	14	5.5%
全壊(2階以上浸水)	307	9.6%	7	2.7%
全壊(1階天井まで浸水)	524	16.4%	52	20.3%
大規模半壊	408	12.8%	57	22.3%
半壊	305	9.5%	65	25.4%
一部損壊	147	4.6%	35	13.7%
その他	83	2.6%	7	2.7%
被害なし	500	15.6%	19	7.4%
無回答	73	2.3%	0	0.0%
計	3,200	100.0%	256	100.0%

震災前の住まいの種類



住まいの被害



ア-1:住みたい場所

	全体		磯鷄	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ場所	990	36.7%	123	51.9%
近くの高台など	753	27.9%	67	28.3%
市内	639	23.7%	32	13.5%
市外	99	3.7%	8	3.4%
その他	72	2.7%	2	0.8%
無回答	147	5.4%	5	2.1%
計	2,700	100.0%	237	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(磯鷄237人)を対象

ア-2:考えている住まい

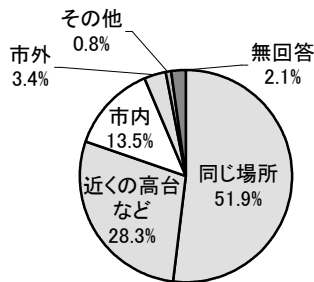
	全体		磯鷄	
	回答数	割合	回答数	割合
既に補修	488	18.1%	77	32.5%
補修予定	269	10.0%	22	9.3%
新築	811	30.0%	45	19.0%
民間賃貸	89	3.3%	14	5.9%
公営住宅	176	6.5%	17	7.2%
未定	486	18.0%	31	13.1%
その他	82	3.0%	6	2.5%
無回答	299	11.1%	25	10.5%
計	2,700	100.0%	237	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(磯鷄237人)を対象

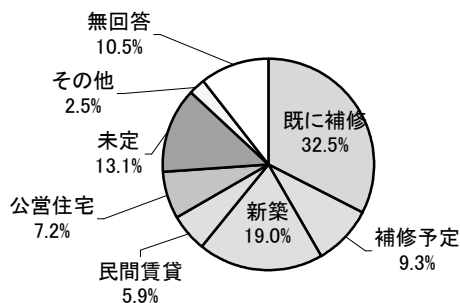
イ:理由(複数回答)

	全体		磯鷄	
	回答数	割合	回答数	割合
離れたくない	1,441	53.4%	140	59.1%
仕事場が近い	442	16.4%	46	19.4%
生活に便利	871	32.3%	113	47.7%
津波被害を受けたくない	1,037	38.4%	82	34.6%
近所づきあい	640	23.7%	63	26.6%
子どもの教育環境	229	8.5%	22	9.3%
早く住宅確保	812	30.1%	44	18.6%
費用がかかる	797	29.5%	60	25.3%
その他	121	4.5%	8	3.4%
無回答	143	5.3%	7	3.0%
計	6,533		585	

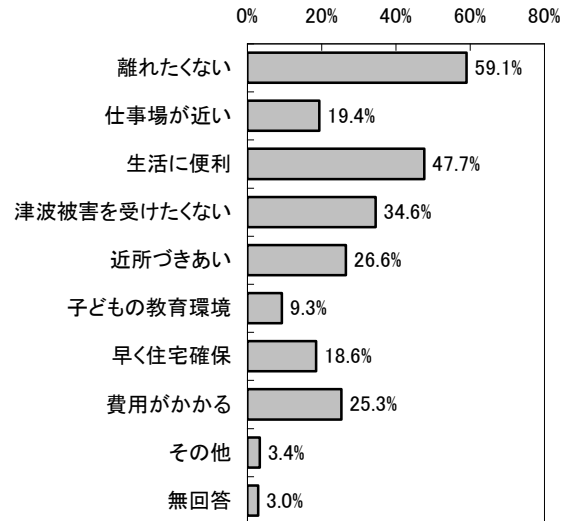
住みたい場所



考えている住まい



理由(複数回答)



住みたい場所×考えている住まいのクロス

磯鷄 住みたい場所	考えている住まい								計
	既に補修	補修予定	新築	民間賃貸	公営住宅	未定	その他	無回答	
同じ場所	65 27.4%	19 8.0%	9 3.8%	2 0.8%	1 0.4%	7 3.0%	4 1.7%	16 6.8%	123 51.9%
近くの高台など	8 3.4%	3 1.3%	26 11.0%	7 3.0%	9 3.8%	9 3.8%	0.0%	5 2.1%	67 28.3%
市内	3 1.3%	0.0%	5 2.1%	4 1.7%	6 2.5%	11 4.6%	2 0.8%	1 0.4%	32 13.5%
市外	0.0%	0.0%	5 2.1%	0.0%	0.0%	2 0.8%	0.0%	1 0.4%	8 3.4%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	1 0.4%	1 0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2 0.8%
無回答	1 0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2 0.8%	0.0%	2 0.8%	5 2.1%
計	77 32.5%	22 9.3%	45 19.0%	14 5.9%	17 7.2%	31 13.1%	6 2.5%	25 10.5%	237 100.0%

(3) 今後の不安、備えについて

問4：これからの暮らしにおいて、不安なことについてお聞かせください。

問5：あなた自身で、今回の震災をきっかけに今後どのような備えをしたいと思いますか。

- 今後の不安としては、「余震や二次災害が不安」が最も多く、次いで「住宅が確保できるか不安」、「(収入を得られるかなどの)生活の自立」となっています。
- 今後の備えとしては、「家族で避難場所、避難ルートの話し合い」、「非常時持出袋等の準備」が多くなっています。

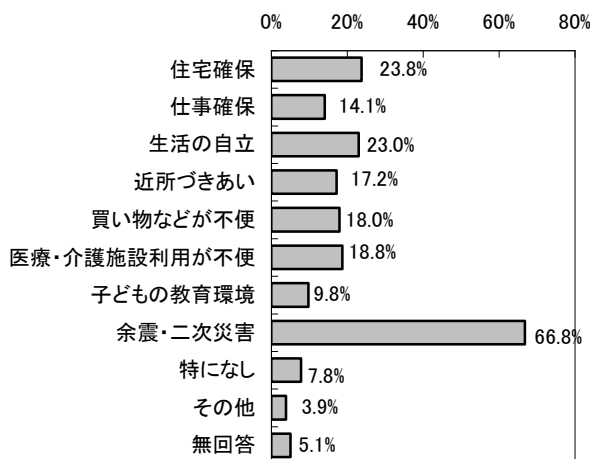
問4:これからの不安(複数回答)

	全体		磯鷲	
	回答数	割合	回答数	割合
住宅確保	1,208	37.8%	61	23.8%
仕事確保	551	17.2%	36	14.1%
生活の自立	947	29.6%	59	23.0%
近所づきあい	526	16.4%	44	17.2%
買い物などが不便	806	25.2%	46	18.0%
医療・介護施設利用が不便	817	25.5%	48	18.8%
子どもの教育環境	310	9.7%	25	9.8%
余震・二次災害	1,705	53.3%	171	66.8%
特になし	154	4.8%	20	7.8%
その他	104	3.3%	10	3.9%
無回答	173	5.4%	13	5.1%
計	7,301		533	

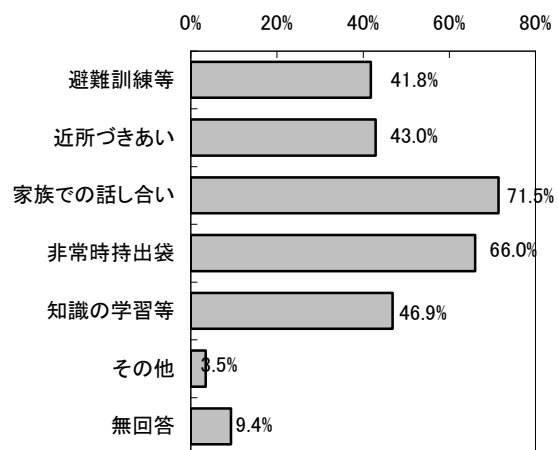
問5:今後の備え(複数回答)

	全体		磯鷲	
	回答数	割合	回答数	割合
避難訓練等	1,298	40.6%	107	41.8%
近所づきあい	1,406	43.9%	110	43.0%
家族での話し合い	2,043	63.8%	183	71.5%
非常時持出袋	1,970	61.6%	169	66.0%
知識の学習等	1,502	46.9%	120	46.9%
その他	128	4.0%	9	3.5%
無回答	333	10.4%	24	9.4%
計	8,680		722	

これからの不安(複数回答)



今後の備え(複数回答)



(4) 復興に向けた今後の施策について

問6：現在、宮古市では復興に向けた計画づくりに向け、次の3つの分野で施策の検討を進めています。「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」それぞれの分野について、大切であると思うことは何ですか。特に、当てはまるもの3つまでの番号を記入してください。また、施策に対するお考えや提案などがありましたらお書きください。

- 「すまいと暮らしの再建」に関しては、回答者の半数以上が「経済的な支援など生活再建に向けた取り組み」を選択し、次いで「住宅の再建などのすまいの確保に向けた取り組み」

や「雇用の場の確保」が多くなっています。

- 「産業・経済復興」に関しては、「(施設の復旧、生産者支援、魚市場整備等の) 漁業復興に向けた取り組み」が最も多く、次いで「(生産施設の復旧、生産者支援、地産地消等の) 農林業復興」となっています。
- 「安全な地域づくり」に関しては、「防潮堤や湾口防波堤等のハード整備に向けた取り組み」と「(道路や公共交通の再整備など災害に強い) 交通網の形成に向けた取り組み」が多くなっており、ハード整備の取り組みが求められています。

ア:すまいと暮らしの再建(複数回答)

	全体		磯鶏	
	回答数	割合	回答数	割合
経済的な支援等	1,706	53.3%	138	53.9%
住宅再建支援	1,717	53.7%	126	49.2%
健康の維持	443	13.8%	38	14.8%
医療体制の確保	1,067	33.3%	80	31.3%
児童・生徒の心のケア	239	7.5%	19	7.4%
学校教育環境の整備	370	11.6%	34	13.3%
生涯学習等の環境整備	137	4.3%	14	5.5%
雇用の場の確保	1,139	35.6%	112	43.8%
地域コミュニティ	421	13.2%	32	12.5%
無回答	433	13.5%	29	11.3%
計	7,672		622	

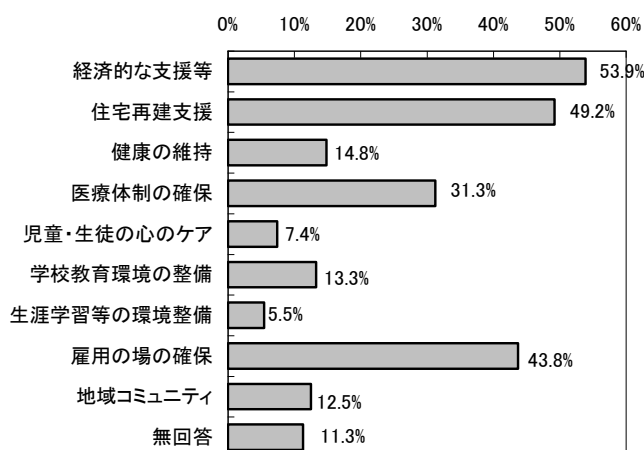
イ:産業・経済復興(複数回答)

	全体		磯鶏	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業復興	967	30.2%	88	34.4%
漁業復興	1,522	47.6%	123	48.0%
製造業復興	815	25.5%	68	26.6%
商業・サービス業復興	881	27.5%	62	24.2%
観光復興	467	14.6%	39	15.2%
港湾復興	489	15.3%	43	16.8%
産業創出	689	21.5%	65	25.4%
事業創出	438	13.7%	33	12.9%
無回答	746	23.3%	56	21.9%
計	7,014		577	

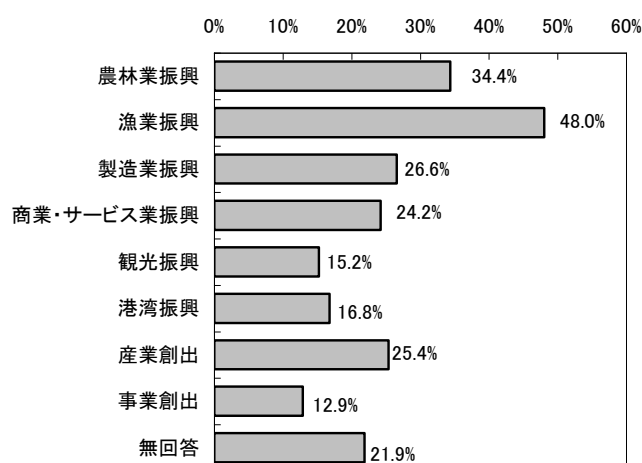
ウ:安全な地域づくり(複数回答)

	全体		磯鶏	
	回答数	割合	回答数	割合
防波堤等	1,838	57.4%	148	57.8%
交通網整備	1,717	53.7%	136	53.1%
土木施設復旧	1,361	42.5%	100	39.1%
地域防災力	444	13.9%	36	14.1%
情報伝達・避難計画	872	27.3%	77	30.1%
災害記憶継承	277	8.7%	28	10.9%
自然エネルギー	545	17.0%	46	18.0%
無回答	515	16.1%	43	16.8%
計	7,569		614	

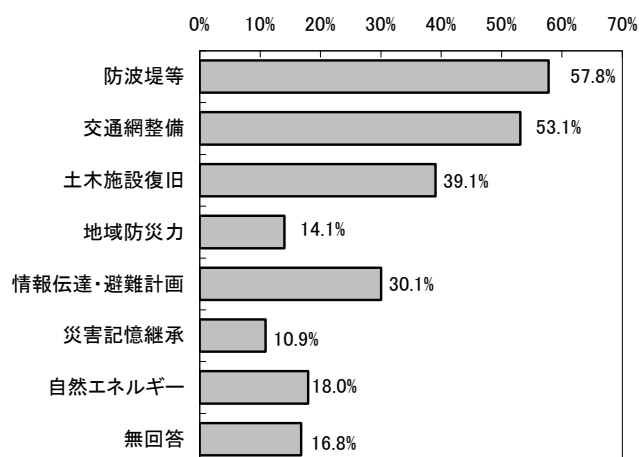
すまいと暮らしの再建(複数回答)



産業・経済復興(複数回答)



安全な地域づくり(複数回答)



■ 主な自由意見（原文要約）

- ・ 住まいとくらしの再建に関して、「住宅の確保や改修」や「雇用の創出」などについての意見があります。
- ・ 産業・経済復興に関して、「漁業の復旧」、「観光の振興」、「新たな産業の創出」などについての意見があります。
- ・ 安全な地域づくりに関して、「防災施設や避難路のありかた」などについての意見があります。
- ・ その他として、「市の情報提供」などについての意見があります。

住まいとくらしの再建について	
1	仮設住宅を出た後、住居がないので、ぜひ公営住宅の整備をしてほしい。
2	住宅を改修して住み続けているが、津波の被害があった場所で暮すのは不安。
3	現在地に新たに家を建てる場合、かさ上げしても、近所の半壊宅がそのまま修理して住んでいる場合、隣近所とのバランスがとれない。
4	家は無事でも職がなくなり収入がなくなった人は義援金をもらえず、生活支援金もない。
5	雇用の場が無いことには市に人を繋ぎ止めることはできない。新規事業主へ補助を出すなどして雇用を確保してほしい。
6	震災により給料が激減した。年をとっていく一方なので、生活していくお金の事が心配。
産業・経済復興について	
1	一次産業が復旧、復興することにより、関連産業が復興し、雇用の場が確保される。
2	農業の高齢化が進んでいて、宮古の農産物が食べられなくなってしまうのではないかと心配。
3	早い水産業の復興のためにも魚市場地域の整備、地盤沈下への対策が必要。
4	震災前の施設を復旧するのではなく、今後宮古市が発展していけるような産業の創出やインフラの整備を考えるべき。
5	三陸道や盛岡～宮古間の道路を整備すれば、宮古港の貨物取扱量が増えて活性化される。
6	水族館を作ったり釣公園を設置することで、滞在型の集客力を向上させる。
7	三陸沿岸の美しい海をテーマとした観光客の誘致に取り組んでほしい。
8	自然エネルギーや観光や水産業などを活性化して雇用を生み出し、若い人が住みたいと思うようなまちにしてほしい。
9	若者の雇用の場であるIT関連への取り組みも必要。
10	中小の事業者への支援が必要。
安全な地域づくりについて	
1	神林地区などの防潮堤の整備等早急に進めてほしい。
2	津波を止めるハード整備には限界がある。津波を受け入れて逃す河川の整備が必要。
3	災害時に、より早く避難するには、地域の状況を良く考えて復興に力を入れてもらいたい。
4	津波浸水想定区域や避難場所の見直しが必要。
5	防災無線をもっと大きな音で放送するかスピーカーを増やしてほしい。車を運転していても大地震がわかる手段が必要。
6	家を建てられない区域を早急に示してほしい。
7	宮古短大周辺の山を造成して宅地の確保し、高浜へ道路を通してほしい。
8	市役所などの公共施設を内陸部へ移転させ、新たなまちづくりを検討してはどうか。
9	建物が解体され、街灯も消え、暗い夜道に不安も感じる。
10	市民の文化を育むため、文化会館の復旧を早めてほしい。
その他	
1	ただでさえ人口減少と年寄りが多くなってきたところに津波が来たため、この流れに歯止めがかからなくなってきた。
2	住む所が何度も変わると、認知症の高齢者が混乱する。
3	市外に避難していると、宮古の情報が入手できなくて困っている。
4	宮古市がこれからの復興のモデルといわれるような、大胆な方針を検討してほしい。

MEMO

A large rectangular area with rounded corners, containing numerous horizontal dashed lines for writing.